



インフレと新しい価格体系への転換と経済における新しい自己基準における事業構築への  
転換

令和7年2月5日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

インフレにおける製品価格の変化は、新しい価格帯系と企業における利益構築における新  
しい現実への変化を与えるものである。

これらは市場において、世界情勢の変化が、その危機感を与え、企業が自己利益の確保にお  
いて、利益の要求を得るためである。

また円安と新しい金利政策への転換、また貿易赤字など、経済構造の転換はさらなるトラン  
プ大統領の課税政策とともに、さらなる将来における変化を有するのである。

これらはグローバル企業が直面する新しい現実として理解することができるものである。

これらはグローバル戦略において、世界情勢への理解と共に、経営判断を新たに要求される  
ことは真実なのである。

これらは世界経済が一つとして自己を有することは必ず真実であり、経済のブロック化な  
どは、将来における現実であることは必ず存在するのである。

これらは為替という現実が、政治状況の変化において今後どのような変化を与えるかは予  
測できないものであり、企業経営への判断は世界情勢とともに、予測できないのである。

これらは世界情勢の変化が存在することは、国家財政の健全性における判断をすべての小  
塚へ求められることは必ず存在すると考える。

これら変化が国家の破綻を与えることは容易に予測できるのである。

これら変化という新しい未来において企業がその独立性と経営を要求される。これらが企  
業における健全性であり、唯一自己の永続を与える現実であることは存在するのである。

また他方においては、先端技術システムが新しい未来を有するのである。